

2020年7月2日  
一般財団法人日本規格協会

### 産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS案作成規程に基づき、当該 JIS案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS案の作成開始要件”を満たすことの事前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、別添 1（次頁）の JIS案作成対象テーマについて、制定する理由（必要性）及び期待効果、JIS案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS作成予定一覧表として JSA ホームページに掲載いたします。

## 産業標準案作成対象テーマ一覧(制定)

2020年7月2日  
一般財団法人日本規格協会

認定機関	産業標準作成委員会	制定/改正/廃止	規格番号 (制定の場合は、仮の番号)	JIS案の名称	JIS案の英文名称	制定する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	01 基本	制定	B0641-5	製品の幾何特定仕様(GPS)－製品及び測定装置の測定による検査－第5部:指示測定器の適合性検査における不確かさ	Geometrical product specifications (GPS) – Inspection by measurement of workpieces and measuring equipment – Part 5: Uncertainty in verification testing of indicating measuring instruments	製品の寸法などについて指示測定器を用いて検査する場合における合否の判定については、JIS B 0641-1において、その考え方を明らかにしている。この考えの中で、測定機器の適合性評価においても不確かさについて考慮して判定すべきことが規定されているが合否判定において不確かさを具体的に取り扱い方法については規定されておらず、測定機器の適合性評価における不確かさについて様々な解釈が生じており、検査現場で混乱が生じている。合否判定における不確かさの取り扱いについては、JIS B 0641-1の対応国際規格であるISO 14253-1と群をなすISO 14253-5において規定されていることから、これを基礎としたJISを制定し、JISとしてその取り扱いを明らかにする必要がある。	この規格の制定によって、測定機器の適合性評価(測定機器の適合、不適合の判定)が正しく行われるための考慮事項が示されることで、測定機器の適合性評価の合否判定の考え方が標準化されるので、測定機器の管理、校正及び取引の効率化が図られ、経済効率の向上が期待できる。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 一般試験測定量 5 試験実施者責任基準 6 指示測定器の試験における具体的な問題		ISO 14253-5:2015, Geometrical product specifications (GPS) – Inspection by measurement of workpieces and measuring equipment – Part 5: Uncertainty in verification testing of indicating measuring instruments	IDT	第2条の該当号: 第4号(検査方法)  対象事項: 鋳工業品全般	法律の目的に適合している。	利点: ア、イ、ウ、オ、キ  欠点: いずれも該当しない。	1. 基礎的・基盤的な分野		一般財団法人日本規格協会のWG	2020年8月